

放射線に関する Q & A

放射線は目に見えません。しかし正しく認識し、対処することで過剰な心配や、無用な被ばくを避けることができます。放射能対策室では定期的に、この Q & A を連載していきます。

監修＝相馬市健康対策
専門部会委員、東京大
学医科学研究所
坪倉正治
作成＝放射能対策室



Q 相馬市では、どのような食品に出荷制限がかかっていますか？

A 厚生労働省では、食品に含まれる放射性物質（放射性セシウム）の基準値を 1 kg 当たり一般食品は 100 ベクレル、飲料水で 10 ベクレル、牛乳と乳児用食品では 50 ベクレルと定めています。基準値を超えた食品が地域で見つかった場合、その食品の摂取による内部被ばくを低減させるため、出荷制限が行われます。県から基準を超えたことが確認された食品は市場への出荷を差し控えるように、関係事業者に要請を行います。相馬市では、平成 26 年 7 月現在で 12 種類の食品が出荷制限等の対象になっています。また、牛の肉は、県の定める出荷・検査方針で管理されたもの以外に関して、県外への移動制限およびと畜場への出荷制限が行われています。

●相馬市で出荷制限の対象食品

(平成 26 年 7 月現在)

▽露地で栽培されたもの：

原木しいたけ、原木なめこ

▽野生で採れたもののみ：

うど、たらめ、ふきのとう、きのこ類

▽その他：

たけのこ、くさそてつ（こごみ）、こしあぶら、ぜんまい、クリ、キウイフルーツ、

相馬市では、食品に含まれる放射性物質（放射性セシウム）の検査を行っています。平成 26 年 4 月から 7 月で行われた食品の検査では、出荷制限の対象以外のものであっても基準値を超えるものは、ほぼありませんでした。これは、セシウムが泥と強く結びつく性質があり、表土からセシウムが地中に浸透しづらいことが関係しています。そのため、野菜の内部へのセシウムの取り込みが抑えられます。魚貝類に関してもイカやタコなどはセシウムの排泄が非常に速いため、漁協にて検査されたものからはセシウムは検出されていません。また、シジミなどの貝類もそのほとんどが不検出となっています。

相馬市では市民の皆様は食品を安心して食べていただくために、市役所や各検査所で随時食品の放射能検査を受け付けています。

●相馬市で行った食品の放射能簡易測定の結果

(平成 26 年 4 月～7 月)

分類	測定数	基準値超え数	基準値を超えた食品
野 菜	304	0	なし
果 実	75	0	なし
水	6	0	なし
魚介類	82	0	なし
山菜・きのこ類	149	7	わらび、ぜんまい、シイタケ、ハリギリ
新米・古米	7	0	
その他	91	4	わらび（あく抜き済）、茶葉、どくだみ
合 計	714	11	

出典および参考資料：消費者庁 パンフレット「食品と放射能 Q & A」

自家消費野菜などの放射性物質測定結果

●7月分

▽測定件数 226 件（野菜 141 件、果実 34 件、水 3 件、魚 26 件、山菜・きのこ類 3 件、その他 19 件）▽基準値を超えた食品 1 件（内訳：どくだみ 1 件）

食品の放射性物質検査

【測定施設】※土日祝日を除く

◎市役所農林水産課（☎ 37 2 1 4 7）

◎出張所・公民館

▽玉野（☎ 34 2 0 0 1）▽東

部（☎ 38 1 0 5）▽大野（☎

35 2 3 2 6）▽飯豊（☎ 35 2

4 0 9）▽八幡（☎ 35 2 4 0

8）▽日立木（☎ 35 2 9 0 1）

▽山上（☎ 32 5 0 0 9）▽磯

部（☎ 33 5 5 6 1）

◎その他

▽大野台仮設 SC（☎ 26 8 9

1 0）▽柚木仮設 SC（☎ 26

9 5 5 0）▽図書館（☎ 37 2

6 3 0）▽愛育園（☎ 36 5 5

9 1）▽北飯沼応急仮設東集

会所・刈敷田第 1 応急仮設集

会所（来所による事前予約制）

※予約時間 9 時～17 時
※仮設集会所の予約時間 9 時～12 時、13 時～14 時 30 分

●問い合わせ先 放射能対策室 ☎ 37-2270